

空幕長の英国出張について

7月14日から22日の間、航空幕僚長 森田 雄博空将は英国を訪問し、国際航空宇宙軍参謀長等会議（GASCC: Global Air and Space Chiefs' Conference）、に参加するとともに、ロイヤル・インターナショナル・エア・タトゥー（RIAT: Royal International Air Tattoo）及びファンボローエアショーを視察しました。

英国滞在中、英空軍参謀長 ハーヴ・スミス大将をはじめとする各国空軍参謀長等との交流を通じ、防衛協力・交流の推進を図りました。また、英空軍参謀長及びイタリア空軍参謀長 アントニオ・コンセルヴァ中将与の懇談において、グローバル戦闘航空プログラム（GCAP: Global Combat Air Programme）にかかる日英伊の連携について議論しました。

航空自衛隊は、引き続き英国をはじめとする欧州各国空軍との連携を強化し、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障は一体不可分であるとの認識を体現していきます。

